

2023年2月13日

各位

会社名：ピリングシステム株式会社
代表者名：代表取締役社長 江田 敏彦
(コード番号：3623)
問合せ先：管理本部長 長谷川 毅
(TEL：03-5501-4400)

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年2月10日に公表しました、2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)の通期業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異

(1) 2022年12月期通期 連結業績予想と実績値との差異(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,456	384	384	239	38.15
実績値(B)	3,434	481	480	323	51.36
増減額(B-A)	△21	97	95	83	—
増減率(%)	△0.6	25.3	24.9	34.6	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	3,143	345	345	224	35.20

(2) 2022年12月期通期 個別業績予想と実績値との差異(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,859	257	175	27.52
実績値(B)	3,031	350	252	40.07
増減額(B-A)	172	92	76	—
増減率(%)	6.0	35.9	43.9	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	2,729	210	146	23.02

差異の理由

① 連結業績予想との差異の理由

主に個別業績予想の修正に伴う影響の他、連結子会社におけるキャッシュレス決済端末の販売は、新型コロナウイルス感染拡大の影響や世界的な半導体不足の影響等により製品の納期や設置に遅延が生じたため期初の計画を下回りましたが、一方で、決済端末関連システムの受託開発案件は、追加開発の受託等もあり計画を上回りました。このため、売上高は計画を下回ったものの、利益率の高い開発案件等が計画を上回ったため、利益ベースでは、概ね当初の計画通りとなりました。

以上の結果、連結業績では、売上高は、ほぼ計画通りとなりましたが、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は、当初の計画を上回りました。

② 個別業績予想との差異の理由

既存サービスのクイック入金サービスは、新型コロナウイルス感染拡大の影響やロシア・ウクライナ情勢による経済不安などにより株価・為替相場の変動が大きかったことやコロナ禍においてネット証券の個人口座の契約数が増加したことから、通期にわたり取扱件数が計画を上回り堅調に推移しました。

また、収納代行サービスも取扱件数が当初の見込みを上回って推移したため、計画比で増収となっております。

以上の結果、利益率の高いクイック入金サービスが計画を上回ったこと、また、販管費を抑制したことなどから、経常利益、当期純利益は、当初の計画を大幅に上回りました。

以 上